昭和51年7月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㈹・〒754―12
印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.296

町の住民登録人口
（51年6月30日現在）前月比
世帯　2,118世帯　＋3
人口　8.221人　－7
（男3.881人　女4.340人）
（国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男 3.771人　女4.366人

事故のない楽しい夏を

〝確認〟が安全を守る

ゆるむ心を引き締めて

本格的な夏を目前に迎えました。山へ海へと自然を求めて出かける人も多いようですが、ちょっとの不注意で命を落すことも少なくありません。七月は「自然に親しむ運動」「夏期食品一斉取締り」「夏の交通事故防止」など保健・衛生に関する強調運動が進められます。と同時に「社会を明るくする運動」もあり、犯罪のない運動も展開されます。

食中毒を防ぐ

食べ物が腐りやすい時期でもあります。長時間たった食べものは気をつけましょう。本町では昨年赤痢患者が一人でました。ことしは伝染病患者が出ないようにお互に気をつけましょう。

食中毒を防ぐ方法としては①新しい材料を用いる②よく洗い、清潔に③冷蔵庫を過信しない④暖め直して悪くなっていないことを確める⑤ちょっとおかしいと思ったら無理に食べないこと。

特に冷蔵庫は五度C以下なら比較的安全ですが、たくさん詰めると冷気が回らなかったり、開閉がひんぱんだと温度が上昇して予想以上に早く腐敗します。

ともあれ、冷蔵庫は冷すものであって、腐敗を防ぐものではないということを心にとめておきましょう。

居眠り運転に注意

夏は居眠り運転による事故がめだちます。夜ふかしをしたり、暑さのため寝苦しかったために睡眠が十分でないと、自動車を運転するとき、つい居眠りすることになります。眠くなりそうなときは運転をやめるか、少し休んでから運転するようにしましょう。

また、夜は暴走族が現われるおそれもあります。事故の起る前に注意し合いましょう。

！！！ここは危い

水泳禁止区域に立て札

ツユがあけると暑い夏がやってきます。涼を求めて水遊びをする人が海やプールにくり出しますがそれだけに水難事故も多く発生するおそれがあります。

町教育委員会では本年も町内にある溜池、沼、川、海（千鳥ガ浜など）十四か所を水泳禁止場所に定めました。

この場所では泳がないように、またこれを見つけたら注意してください。

水泳禁止場所は次のとおり

▽若山合板貯木場付近
▽魚市場付近
▽干拓第一水門付近
▽干拓溜池
▽干拓第二水門付近
▽土路石川下流付近
▽岩倉牧堤
▽岩倉新堤
▽河内宮の脇池
▽杖川長堤
▽江畑の池
▽岡山の池
▽黒谷の池
▽千鳥が浜＝赤旗より沖

ここは
あぶない
はいってはいけません

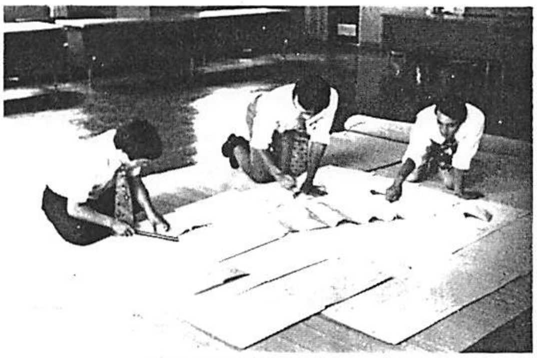
水の犠牲者が出ないように……立札

24日夜に推進大会

社会を明るくする運動

本町では保護司会や更生保護婦人会と共催で七月二十四日午後七時から「社会を明るくする運動推進大会」を開きます。

大会では、本町の更生保護、防犯、暴力追放の活動報告のほか映画「甘たれるな」＝五十分＝の上映もあります。団体や一般の人の参加を望んでいます。



測量図を一枚ずつ確認する係員

地籍調査は最後の段階

町は四十六年から国土調査法に基づく地籍調査を進めてきましたが、いま、最後の仕上げ作業にかかっています。

従来の土地台帳や分間図は明治時代にできたため現情と合わないことが多いこと、また、山口県下は山林の分間図がないことなどから、調査にかかったものです。

すでに三か年間の成果は法務局に登記されていますが、現在、最終年度（河内・源河周辺）の測量図を検査にかかっています。これがすめばコンピューターにかけて一筆ごとの面積を出し、法務局の台帳に登記することになります。

それがすめば本町の調査は全部終了ということになります。

町政だよりを電話サービス

有放「117」番でいつでも聞けます

町では有線放送電話による町政だよりの電話サービスをはじめました。町からのお知らせごとなどを知りたい方はいつでも有線放送電話のダイヤル「117」番をまわしてお聞きください。無料です。

これまで有線放送による町からのお知らせは、定時、または随時行ってきましたが、それでは時間的に聞けない人があったり、やかましいといって音量をしぼっている人などあり、なかなか徹底しにくい点がありました。また、もう一度聞きたいと思っても聞けないこともあるので、農協の協力により、録音テープをセットし、電話のダイヤル「117番」をまわせばいつでも聞けるようにしたわけです。

この装置は一度に三回線の電話から聞くことができます。一回のお知らせは約三分間です。

電話サービスはいろいろありますが、それらは有料が殆んどであるため、こうして無料で聞けるのは珍しい試みだといわれていますどうぞご利用ください。

……△▽……

お知らせ

通院・入院は一日五百円に

スポーツ共済見舞金を増額

町独自が実施しているスポーツ等災害共済の見舞金が四月にさかのぼって増額されました。

この共済制度は町内会や団体の活動としてスポーツや奉仕作業に参加中、負傷した人や病気になった人に見舞金を贈ろうとするものです。これによってみんなが、より積極的に参加できることをめざしています。掛金は行政区から一人五円程度を納めることになっており、個人の直接の負担はありません。

主な改正点は次のとおり、（ ）内は改正前の額

▽見舞金＝入通院とも一日五百円（三百円）、ただし給付限度額は百日で五万円（三万円）
▽救急処置料（初診料）＝一律四百五十円（実費）
▽死亡＝八万円（五万円）

宇部に社会保険事務所

本町も管轄区域に

七月一日から宇部に社会保険事務所が開設されました。

所轄区は、宇部市、小野田市、美祢市、山陽町、楠町、阿知須町の三市三町です。

これまで本町は山口社会保険事務所の管轄であったため、町内の事業所はもちろん、宇部市の就業者など山口市まで出かけていましたが、宇部にできたことで、恩恵を受けるものが多くなります。

なお、社会保険事務所は、会社事業所など職場の健康保険や日雇労働者健康保険、厚生年金保険に関する事務や相談、さらには国民年金の相談ごとなどを取扱います

所在地は宇部市寿町二丁目十一―二八（旧宇部市青果市場）

防火用水池に柵を

有刺鉄線を差上げます

家の近所にある防火用水池に、幼児、児童があやまって入らないよう周囲に柵があるでしょうか。

もし、近所の防火用水の柵が破れていたら、区長を通して町へ（交通防災対策室）申し出てください。

有刺鉄線を町が無償でさしあげます。

身元不明者の相談

突然の家出や、旅先、働き先などから急に行方不明となって音信がなくなり、その後、生死や所在が全くわからず、お困りの方はありませんか。

県警察本部及び県下の各警察署では、お盆前の七月十五日から八月十五日までの一か月間を身元不明死者の身元確認強調月間として「家出人、行方不明者等をさがす相談所」を設置します。

行くえのわからない身内の安否を気づかっておられる方は、遠慮なく県警察本部鑑識課、または派出所へご相談ください。秘密は守られます。

本を読みませんか

おかあさん用に購入

町教育委員会は県立図書館が主催する「おかあさんの読書コンクール」の課題となっている本を新たに購入し、図書室に備えましたご利用ください。

読書感想文応募の場合は課題図書の中から一冊を選んで読み、その感想を二千字程度（四百字詰五枚）にまとめて県立図書館（山口市後河原松柄）へ。作品には本の題、住所、氏名、職業、年齢を記入のこと。締切り九月二十五日。

課題図書または町図書室に新しく備えた本は次のとおり

▽生きるための自由（石川達三）新潮社▽日本人は死んだ（M・トケイヤー箱崎総一郎訳）日新報道▽わが一期一会（井上靖）毎日新聞社▽暮らしの中の日本語（池田弥三郎）毎日新聞社▽志賀島（岡松和夫）文芸春秋社▽火宅の人（檀一雄）新潮社▽細川ガラシャ夫人（三浦綾子）主婦の友社▽聖職の碑（新田次郎）講談社▽絵のない絵本（アンデルセン・矢崎源九訳）新潮社▽銀河鉄道の夜（宮沢賢治）新潮社

統計グラフコンクール

県統計協会では、統計グラフの作品を次のとおり募集中。

応募資格は一部小学校三年以下二部小学校四年以上、三部中学生四部高校以上の学生・生徒、五部一般。

課題は各部とも自由。

締切りは九月八日 。

問い合せ、送り先は

山口市滝町・県統計課内
山口県統計協会

7月のメモ

8日　婦人学級（後1時半）
9日　版画教室（後1時半・中学美術室）
豚コレラ予防接種
11日　町内野球大会（前7時半・阿中、小グランド、雨天の時18日に延期）
13日　育児相談（後1時半）
14日　心配ごと相談（前10時）
〃　幼児交通指導（前9時）
15日　幼児交通指導（前9時）
〃　栄養教室（前10時）
16日　陶芸教室（前9時・南祝魚谷）
19日　幼児学級（後1時半）
20日　幼児相談（後1時半）
23日　青年学級社交ダンス（後7時半）
〔時間のある催しは役場〕

7月の納税

。　固定資産税
。　国民健康保険税

ぼくの学校　私の学校

〔阿知須小〕
10日　生雲小のPTAが視察来校
17日　保護者会
20日　一学期終業式
〔井関小〕
10日　体重測定
15日　貯金日
17日　保護者会
20日　一学期終業式
〔阿知須中〕
9日　貯金日、簡易保険納金日
13日　校内水泳大会
15日　集金日
17日　生徒総会
19日　保護者会
20日　一学期終業式
29日　近郷中学校招待野球

商工会の土曜夜市

阿知須商工会恒例の夏の土曜夜市は次のとおり

7月10日
花火大会（後七時半）
金魚すくい
生ビールの販売

7月17日
金魚すくい
バナナのタタキ売り
エレキバンドショー

7月24日
金魚すくい
あじす一〇一による歌とバンド演奏
ガラクタ市

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽十万円＝河村与一さん（恵比須）は妻つたのさんの▽五万円＝福重時江さん(寺河内)は夫明さんの▽三万円＝繩田繁雄さん（繩北）は父保一さんの、下野隆一さん（飛石）は義姪藤井コウさんの、下河誠さん（岩前）は妻道子さんの

◇一般寄付

▽一千円＝平野貞夫さん（繩北）

〔町へ〕

◇広報紙送料▽二千円＝梶間谷允さん（横浜市南区大岡二丁目二十五の六A一一・寺河内出身）▽三千円＝香川照雄さん（千葉県松戸市松田新田一六九番地石井荘二階一一号・砂一出身）

（とじておくと便利です）

セイタカアワダチソウの絶滅をめざしています。自分の所有地に生えたものは自分で処理しましょう 。

わが町わがふるさと⑤

県下を殆んどまわって阿知須へ

岩西前　重元ヨシノ

○―この一月に防府市富海から移ってきたばかりです。だから、まだお話しするまでには行かないのですが…。でも感じとしては他所から新しく入ったものに対して排他的なところがないように思います。近所の人も遊びに来てくださいますがみんなよい人ばかりです。

○―富海は主人が退職（宇部警察署長）して新築したのですが、四年余りのたったら国道バイパス工事で立退きになったのです。移転先を探していたら知人が「私は阿知須に建てようと思っているが一緒にどうか」といわれますので阿知須に決めたわけです。県の中心部に近いし交通の便もよいし、以前に小郡にいたこともあって、阿知須にすることは全然抵抗がありませんでした。

○―主人は熊本、私は島根県益田市鎌手の出身です。でも、二人とも若いときに郷里を離れていますので、山口県全体がふるさとと思っています。と、いいますのは主人は三十七年間奉職し、県下の警察署を殆んどまわりました。（その内、県警本部鑑識課長、秘書課長など歴任）それも長くて二年半ぐらいですから、何か所変ったか今すぐ数えられないぐらいです。娘は小学校のとき五回も転校したほどです。ここに来たら、こんどこそのんびりと心豊かな日々を送ろうと思っています。

○―木彫りのことですか？。人さまにお見せするほどではないのですが、防府に居たときから続けているものですから…。熱を入れてやるようになって三年ぐらいです。もし、やってみようと思われる人があれば一緒にやってもよいと思っています。何人かまとまれば先生も出かけてもよいとおっしゃっています。これ（本入れ、妻揚子入れ）も作ったものです。自分で作るというのは楽しいものですね。

（岩倉西前・主人は県交通安全協会専務理事）

町史編さん室だより④

年中行事と農民の生活

（一）

幕藩体制を確立するにあたっては、封建的主従関係、土地所有そのほか種々の要因が必要であるが身分制度もその一因となる。封建的身分制度は秀吉の刀狩り令によって兵農分離が進められ、徳川政権に至り士農工商の身分の確立をみる。

この制度によって農民は武士階級の次に位置したが、年貢米を財政的基盤とする幕藩制のもとにおいて、農民の身分的位はきわめて意図的なものであった。

"百姓は生かさぬよう殺さぬよう"、"百姓とゴマの油は絞ればしぼるほどでる"という言葉は農民の置かれていた立場を端的に示すもので、為政者は年貢収奪の対象として農民をとらえていた。すなわち百姓第一の勤めを耕作、年貢完納とし、五人組の制度を利用して年貢の完納を進めるとともに、逃散の防止を企て、さらには家作衣食に至るまで規制を加えた。婚礼等ハレの場での饗応も一汁一菜を原則とし、派手な染付の衣類の着用を禁じ、いわゆる質素倹約を美徳とし、生活の奢侈をいましめた。農民の生活が奢侈に流れることは無精になることであり、田畠の耕作を怠ることに繋がると考えてのことであった。

天保年間の美祢郡岩永村における農民の様相について『防長風土注進案』に「春の半より秋の末迄男は半切の単物・細帯、女は前垂れひとつにて身をまとひ足半を履き」とあり、この様相は隣村と比較し雲泥の違がある、と述べている。岩永村にみるこうした様相は近世初期においては普通であったようで、近世中期以降、貨幣経済の農村に浸透していくに従って農村・農民の姿も次第に変化をとげていった。

半期で去年の六〇%

建築確認、年々増加の傾向

一時沈滞していた住宅建築が次第に盛り返し、本町に出された建築確認申請書は六月現在で昨年の約六〇%にのぼっています。

本町の場合、ここ数年、漸増傾向にあり、昨年は四・五日に一戸の割合いで住宅新築の申請が出された計算です。

年次別の確認申請件数は次のとおり

年	総数	住宅（新築）	その他
四六	九六	八三（五九）	一三
四七	一〇五	九四（五四）	一一
四八	一〇六	九二（五八）	一四
四九	一一六	一〇〇（六六）	一六
五〇	一六八	一二九（八〇）	三九
五一	九五	六七（四六）	二八
一月	九	六（四）	三
二	一二	九（六）	三
三	二〇	一二（八）	八
四	二二	一六（一一）	六
五	一二	八（四）	四
六	二〇	一六（一三）	四

※十平方メートル以上の建物を新築、または改、増築する場合は建築基準法にもとずいて県知事の確認を得なければなりません。本町の場合、全域が対象になっており、例え、倉庫や納屋であっても正式の手続きをふまなければなりません。申請書は町（施設課）を通して県土木事務所に提出することになっています。手続きの方法等については施設課か建築業者または建築士などにご相談ください。

◇　◇　◇

☆☆☆☆☆☆

岡村獣医を表彰

全国獣医師会

全国獣医師会創立五十周年記念式がこのほど東京で行われましたが、この席上、本町の岡村牧恵氏(67)―岩辻・獣医・町議会議長―が功労者として表彰を受けられました。

戦時中は陸軍の獣医として七年間、戦後は県庁に入り家畜保健所など十七年間勤務、現在は開業獣医。

今回表彰されたのは県下で五人です。

海外協力隊でネパールへ

本町から初めて、獣医の松田青年

松田芳行さん

政府が国際協力の一事業として行っている「青年海外協力隊」に本町野口・松田芳行さん(26)＝獣医・**写真**＝が参加、十月からネパールに出かけることになりました。同協力隊に参加するのは本町からは松田青年が初めてです。

これは政府が国際協力事業団に委任、中米、アフリカ、東南アジアなど開発途上国に各種の技術者を送って発展への手助けをしようとするもので、四十年から実施し、すでに全国から二千十七人を派遣しています。現在、本県から九人が現地で活躍中です。

今回派遣が決った松田青年は、松田一人さん（大成建設顧問）の四男。酪農大を経て、麻布獣医科大学を卒業、現在、海外派遣に備えて研修所で勉強中です。学生時代はバレーボール部の主将をつとめ、阿知須バレーボール同好会に所属していたこともあります。

ネパールでは獣医として現地住民と生活を共にし、二年間指導に当ることになっています。

なお協力隊員になる資格は満二十歳から三十五歳までの男女で、論文、英語、技術について試験があります。技術は農林水産、保健衛生、交通通信、鉱工業、土木建設、教育訓練など専門分野について。往復旅費、現地生活費、業務上の経費は事業団が支給。勤め先を休職して参加する場合は国が給料を補てんする場合もあります。

本町で考古学調査

山大の学生十三日から

山口大学教育学部の学生四十人が七月十三日から十五日まで、町内全域で考古学の調査をします。

本町の古代史を研究するために地質、遺跡、その他、郷土の歴史を知るための足がかりとなる資料を調べるものです。

このため、四～五人程度のグループとなって町内の私有林、私有地など立ち入ることがあると思われますが、特に支障のない場合はご理解とご協力をお願いします。

阿小の国重さんは

健康優良児郡代表

本町のことしの健康優良児がきまりました。

県教育委員会が毎年行う選考会の予選ともなるものです。郡予選では国重つぶらさん(阿小)が選ばれ、吉佐管内の審査に進みましたが、ここではパスできませんでした。

本町代表は次のとおり

①身長②体重③胸囲④座高

（阿小）

▽深野朋久＝①一四七・三②三九・四③七一・五④七八・三

▽国重つぶら＝①一五五・三②四八・八③七六・〇④八二・六

▽西村　譲＝①一四八・八②四五・〇③七三・七④七七・六

（井関小）

▽国重美代子＝①一五二・七②三八・四③七一・八④八三・七

（阿中）

▽山田哲也＝①一六五・六②五〇・五③七八・〇④八九・一

▽真重万由美＝①一五八・四②四八・五③七六・〇④八六・四

家の名儀と税

夫婦の場合も注意

共働きの夫婦が資金を出し合ってマイホームを建てたとき、どちらか一方だけの名義で登記をすると贈与税の問題が起きてきます。

こんなときは、資金を出し合った割合で共有登記にすると贈与税はかかりません。

建築資金を親から借りたときも形の上では借りたことになっていても「ある時払いの催促なし」のように、実質的に贈与であれば贈与税がかかります。

経営改善資金を融資

国民金融公庫は小企業経営に改善資金の融資をします。

つぎの条件を備えておれば保証人、担保なしに受けられます。借入れ手続きは商工会が取扱います

▽小企業経営改善資金

対象…常時使用する従業員が五人以下で商工会の推せんを受けた者。

使途…運転・設備

限度額…運転一千五百万円　設備二千万円

利率…年七・〇%

償還…月賦

保証人・担保…不要

重複、借り替えもできます。希望者が少ないので借入れは割合い容易です。

自衛官募集

自衛官には普通の陸海空士のほか幹部への近道、技術関係へ進むコースなどあります。

▽陸海空士＝十八歳以上二十五歳未満。給料は月七万三千七百円ボーナス年五・二か月分。衣食住は国が負担。男子はいつでも受付けますが、女子は陸・海のみで、十月一日から十一月六日まで受付け。山口地方連絡部はことしも本町から二名の入隊を見込んでいます。

▽一般曹候学生＝高卒（見込）で二十歳未満。二年修学すると三曹（下士官・旧伍長相当）になれます。受付け八月二日から九月三十日まで。

▽婦人自衛官一般空・海曹＝短大卒（二年経過者）。すぐ下士官になれます。受付け八月二日から十月九日まで。

問合わせ、相談は町総務課か自衛隊地方連絡部宇部出張所へ。

役場の窓

◆・このたび配布された町民税の納税通知書が、従来のものと変っているのをお気づきでしょうか。実はコンピュータによる事務処理をはじめたからです。実際には日本電子センターに委託し、そこで個人別に記録、処理したものをお届けしているわけです。委託料が年間六十七万円。しかし、これまで納期が迫ると七人の係員が連日残業までして書いていたのが、現在は五人で間に合わせています。あて名がカナ書きのため読みにくい点があるかも知れませんが、その点ご勘弁ください。内容の秘密保持については契約条項にもり込んであるので外部にもれる心配はありません。

◆・七月は「愛の血液助け合い運動の強調月間です。町職員の親ぼく団体『みどり会』は献血友の会をつくり、献血に協力し合っています。一ばん多く献血しているのは三十八回の林幸年・教委総務課長。つまり牛乳ビン三十八本分に当ります。献血会員数は四十六名（男三八、女八）で現在六万八千七百CCを預けています。会員の家族に輸血が必要なときはこれで助け合うわけです。献血車は三か月に一度、役場へきます。一般の人もできますので、健康なときに献血して、万一に備えておかれるようおすすめします。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
伊藤和彦	二男	崇	5・13	前山
古谷守正	二女	正代	5・19	引野
野村春夫	長男	毅	5・29	野口
兼重一義	長女	留美子	6・13	日北
梅田和弘	長女	雅子	6・15	西条
長尾　進	長男	誠大	6・17	河内
上野清治	長男	雅寛	6・19	岩前

婚姻（おしあわせに）

力武博行　佐賀県伊万里市
昭江（小野）野口
松永松夫　引野
信子（西村）井関
原田和男　山口市大内
貞子（竹原）門松
柳井　務　引野
文子（吉村）山口市佐山
山田茂夫　美祢市伊佐町
邦子（石本）仙在
石丸英雄　岩西
文子（向田）山口市嘉川
近本哲至　吉敷郡秋穂町
由美子（福永）門松
佐賀輝昭　防府市西浦
フミ子（高津）岩西
中川信頼　宇部市西岐波
久美子（松崎）飛石
中尾　勉　南祝
美子（河村）鹿児島県名瀬市

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
下河　道子	6・4	50	岩前
河村つた乃	6・14	74	恵比須
金本　恵子	6・15	41	南祝
藤田　昇	6・22	47	飛石
中本　テル	6・25	70	寺河内
伊藤　茂男	6・28	63	源河

伊藤茂男氏（町議）

かねてから高血圧症でしたが七月二十三日昼食中、突然倒れ、意識不明のまま二十八日に死去。町議会議員に二期当選、社会委員会副委員長でした。六十三歳。

伊藤氏は昭和七年に山口師範学校を卒業、四十二年嘉年小学校長を退くまで教育ひとすじに歩まれその間、阿知須中学校には二十二年から十二年間勤められました。

現職の町議会議員が亡くなったのは藤井久市氏（白円松・四十年四月没）以来のことです。

なお、本町の場合、町議（定員十八人）の欠員三人までは補欠選挙をしなくてもよいことになっています。

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

町章の形に咲きし睦橋の土手のつつじのピンク瞳に沁む
浜　正司ウメノ

味噌糀の寝し方教えず母逝きぬ麦蒸すかおり厨に満ちをり
小東　松尾　君代

我が家の小さき池に睡蓮の色あざやかに今朝は咲きたり
小西　藤重アヤ子

雨蛙鳴く夕暮を庭にたちこの朝植し菊を見て居り
小西　徳本　喜一

離れ住む嫁が送りし小包に草履もありて母の日に届く
小西　平海アサノ

とべらの花もいつしか終り春蝉の一つ鳴く声雨の晴れ間に
飛石　藤重　幾代

山畑に小鳥の声をききながらたまりし仕事もいつしかをえたり
砂三　藤永ミツノ

山樹立ち深きが中に厚東氏の歴代の墓苔むし並ぶ
北祝　原田　双恵

栗の花匂ひただよう峠道配達吾わ越えてゆくなり
砂一　松代　二郎

軒低くつづくコタンの夜の里にニセコの彫りたる腕輪を求む
砂三　渡辺　宮子

見おぼえの道に椿の咲きしやと歩めぬ友は我にといたり
飛石　砂村ヤス子

朝毎に花の水替え素直なる心となりて退院を待つ
岩西　中本幸　枝

気苦労の多しか妻の横顔にやつれ見えしぞ見舞来し日の
河内　磯中　忠一